



〒101-0062  
東京都千代田区神田駿河台 2-1  
OCCビル2F  
TEL 03-3296-1005  
FAX 03-3296-4641  
Email: office@obi-net.com  
Web://www.obi-net.com  
お茶の水聖書学院  
お茶の水聖書学院後援会

## 『新・お茶の水聖書学院構想』

副学院院长 藤原導夫



お茶の水聖書学院(OBI)は1991年、羽島明先生、本田弘慈先生、増田誉雄先生などのご尽力により現在地に開校しました。日本社会に大きな影響を及ぼした経済的バブル崩壊の中、2001年にはお茶の水クリスチャンセン

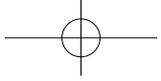
ター(OCC)から独立し、新生・OBIとして船出をし、開校以来195名の卒業生を送り出してまいりました。しかし、神様の不思議な導きと多くの方のご尽力により、来春には、OBIはOCC(村上宣道理事長、榎原寛副理事長)に統合されることとなりました。ここ数年は、そこに向かつてさまざまな面からの取り組みが進められております。そのようにして来春からスター

トします新しいOBIをここに少しご紹介させていただければと思います。これまでOBIは、「聖書科」を中心に据え、「主と教会に仕える」をモットーに信徒の方々の育成に取り組んでまいりました。これまで22年にわたって続けられてきましたこの基本的在り方はまったく変わることはありません。すなわち、あくまでも信徒の方々が聖書を学ばれるための「聖書学院」が本学院の基本的性格です。

そして、その歴史的土台を踏まえつつ、「聖書科」の中に二つのコースの新設を計画しています。第一は、「信徒説教者コース」です。現在の日本には、牧師のいない教会が多くなっています。全国レベルでは、今や10教会に1教会がそのような実状にあると聞かされています。そのような危機において、信徒の方々が訓練を受け、「信徒の立場で」説教が出来るように整えられていくならばと考えます。新しいOBIは、諸教会のご理解とご指導を受けながら、そのような点においてもお役に立つことができると願っております。

第二は、「牧師夫人コース」です。日本の教会において牧師夫人として生きることは並大抵なことではありません。ともすれば、牧師の陰に隠れて忘れられがちな存在となり、その立場や働きを理解してもらえず、悩みや葛藤の中にあるということはないでしょうか。牧師夫人が輝き、元氣であつて欲しいと思います。まずは、牧師であるご主人の働きを理解することが必須です。そのためにはご主人が牧師として備えておられる聖書的・神学的・牧会的知識を最低限理解し、共有することが必要かと思われまします。次にはそれらのことを学び取り、教会において牧師夫人としてふさわしく振る舞い、働くことができるように整えられていくことです。そのためのカリキュラムを来春に向けて組み、新入生の方々を受け入れることができるよう取り準備を進めております。

以上のような新しいOBIについてのお知らせを、これからはOCCと一つとなつてさまざまな方たちで皆様に発信させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。



## 2013年サマースクーリング報告

阿部幸平（同窓生）

今回の夏期スクーリングでは、礼拝についていろいろな角度から学ぶことができ感謝でした。「真の礼拝者たちが霊とまことによって父を礼拝する時が来ます。今がその時です。父はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。」（ヨハネ4・23）。この御言葉に及ばない自分の姿を見て、どうすればよいのかと思いました。講義の中で「聖霊は信者一人一人の内に来て下さった。主イエス・キリストの中にある霊とまことによって礼拝をするのです。」と語られました。自分の力だけでは真の礼拝を捧げることはできないことを知らされました。「この奥義とは、あなたがたの中におられるキリスト、栄光の望みのことです。」（コロサイ1・27）。内にいますキリストに信頼し、より頼んでいかなければ神に喜ばれるこ



とはできないと思いました。

また日頃の人間関係において、キリスト者であるがために背負う重荷が重く感じる事が多くなつて、これではいけない、何とかしなければと、もがきつつも解決の道が分からず疲れを覚えておりました。講義の中で「いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。」（ローマ8・2）。飛行機が空を飛ぶこと

が出来るのは重力より浮かせる揚力のほうが大きいからです。罪や世の力より、神の恵みの揚力のほうが強い。目が開かれた思いでした。自分の力を頼みとせず、神の力と恵みに信頼して信仰の道を歩み続けようと思いました。

専修科二年 菅井 祐子

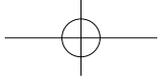
昨年、入学してはじめての夏早速二泊三日のサマー・スクーリングに参加し、今年もまた早々と申し込みをしました。家事や仕事に追われる毎日の中で、貴重なトリートとしての集中を頂けるこの機会は、私には至福の感謝の時。安らぎと御恵みを一身に受けることのできる大切なひとときとなっています。

今回は八尋勝先生をお迎えし『礼拝の理論と実際』と題された五回の講義。礼拝＝神への祈りを根本から見直し、より確かな『真の礼拝者』への道を問う学びとなり感謝をいたしております。準備

されたテキストに沿って、礼拝を意味する用語の検証から始まり、神学的観点・歴史的背景・教会における礼拝の様々、礼拝における女性の役割・礼拝を診断すること等、多角的な視野で私たち信徒が守るべき礼拝を再確認する貴重な時を与えていただきました。

そして今に生きる新約のキリスト者として、場にとらわれず、神の栄光をあらわす者として、イエス様による真の礼拝をしていく事、自らの満足に止まらない祈りを目指すこと、と気づきを頂けた三日間でした。「神は霊ですから、神を礼拝する者は、霊とまことによって礼拝しなければなりません。」（ヨハネ4・24）





## 声楽・オルガンコース第9回夏期研修会報告

講師 内藤真奈

去る7月10日(水)、11日(木)の二日間に亘り、ウエスレアン・ホーリネス教団浅草橋教会をお借りして、声楽・オルガンコースの夏期研修会が持たれました。両コース共に3名ずつの参加でしたが、それぞれが大変良き研鑽を積むことができました。声楽コースでは、植木朋子先生のご指導のもと、伴奏者として越川伊豆美氏、福井純子氏にお手伝いいただきました。感謝いたします。

外はうだるような猛暑の日々でしたが、涼しい環境を整えてくださり、しかも素晴らしい会堂と楽器(パイプオルガン、ピアノ、チェンバロ)を快くご提供くださった浅草橋教会の黒木安信牧師はじめスタッフの方々、教会の皆様から感謝しております。

第7回までは、声楽とオルガン受講師による合同の発表コンサート



トを行って参りましたが、第8回より、声楽コースは発表会、オルガンコースは弾き合わせ会を別々に持つております。今年の発表会には十数名の方々が来てくださいました。

普段歌い慣れない場所、また、弾き慣れない楽器で賛美、演奏することは大変難しいことですが、良い楽器、また良い響きのある会堂で学ぶことは多くあります。研

修会での学びが受講生の方々の今後の歩みに活かされ、ご奉仕が豊かに祝され用いられますよう祈りつつ、講師も共に励んで参りたいと心から願っております。

学院生 山田由美子

今年度は、浅草橋教会のガルニエオルガンでの講習会ということでも楽しみに参加させていただきました。広い礼拝堂は、高い天窓から差し込む光と、柔らかな照明、正面の白い壁には大きく映し出されたような十字架。神様が、今ここに、ともにいてくださることを強く意識させられるような場でした。

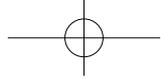
午前中のレッスンで、内藤真奈先生から音選びをご指導いただき、弾きだしましたが、パイプオルガンはいつも弾いている電子のオルガンとは全く違うタッチ。思うように音がつながらず…。午後

だが、パイプオルガンに触れる喜び、そして、広い礼拝堂に響く音色に心は喜びでいっぱいでした。

内藤真奈先生が演奏してくださったコラール前奏曲を聴き、音を通してしっかりと伝わってくる感動を覚え、あらわすことの出来る奏楽者を目指し、さらに学んで行きたいと思われました。

浅草橋教会の方々のご配慮により涼しい教会の中で、外の暑さに負けない熱い研修会の一日を過ごさせて頂き、本当に感謝でした。





## 学窓トピックス

### ● サマースクーリング

今年も恒例のサマースクーリングを実施しました。参加者28名。礼拝について学ぶ、祝された時となりました。概要については、2、3頁をご覧ください。

### ● OBI記念・支援コンサート

去る9月7日記念・支援コンサートが実施されました。参加者125名。皆様のご協力に感謝申し上げます。



げます。詳細は、5、6頁の報告記事をご覧ください。

### ● OBI・OCC統合

一般社団法人お茶の水聖書学院は、2014年4月を目指して、組織的に宗教学者お茶の水クリスチャンセンター（OCC）と統合される予定で、諸手続きを進めております。今後OBIの活動を充実させるのみならず、お茶の水クリスチャンセンターの宗教学者としての活動を豊かにする相互恵的な統合になることを願っております。覚えてお祈りください。

### ● 秋学期生募集中

後期のカリキュラムは以下の予定で実施いたします。申込み、お問い合わせは、事務局までご連絡ください。

### ● 通信科生募集中

通信科生の入学は随時受け付けています。学びを始めたいと思った時には、お気軽にお問い合わせください。資料をお送りいたします。

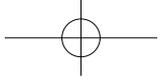
## 2013年度後期カリキュラム

	月	火	水	木	金	土
I	11:00 ～ 12:30	旧約・新約釈義入門 福井 誠		聖書重要教理（*） 藤原導夫	*	
II	13:30 ～ 15:00	コロサイ人への手紙解説 世良田湧侍 原典による聖書釈義 野口 誠		創世記解説（前半）～ 創世記が語る私たちへの メッセージ 稲垣緋紗子	聖書と生き方 中島總一郎	
III	15:30 ～ 17:00	聖書原典購読 野口 誠		ヨハネの福音書 ～愛の御声を聴く～ 宮崎 誉	パウロの手紙 岩上敬人	
IV	18:30 ～ 20:00	旧約聖書概論（*） （音楽科、聖書科合同礼拝） 福井 誠		新約聖書概観 福井誠	十字架の道ゆき～マタイ の福音書に学ぶイエス 河村従彦	

\*（\*）は基礎科目です

\*「讃美歌入門：歌詞を味わい、評価し、つくる」が特別講座として開催されています。月曜日 18:30-20:00、通年 15 回です。

\*ピアノコース、通信コースは、随時受付です。詳しくは事務局までお問い合わせください。



# OBI記念・支援コンサート

理事 中島總一郎

OBIニュース第37号 2013年10月1日発行

去る9月7日(土)、OBI記念・支援コンサートがOCC8Fのチャペルで開催された。増田誉雄前学院長の召天3周年をも記念するものであり、百数十名の牧師・信徒が参集された。会は以下の四部構成で進められた。

第一部の記念礼拝では、全員での賛美の後に、世良田学院長のあいさつとして「OBIは、本田弘慈師、羽鳥明師によりOCCの教育部として始められたが、バブル崩壊により危機に陥り、OBIは自立を余儀なくされた。現在再び統合作業が進められており、これは増田師の長年の祈りでもあった」と紹介された。続くOCCの理事長の村上宣道師によりへブル10・39・42からメッセージがあった。「ビジョンはそれを抱いた人の生涯中に完成されるとは限らな

い、他の引き継いだ者がそれを成す。増田師はOBIを始められ、

その発展と充実に3K(感謝、感激、感動)を禁じ得なかったが、抱いたビジョンが達成されたわけではない。その実現は、私たちに託されている。いや主はそれをおたちの上に実現させようとしておられる」と奨励された。

第二部の記念コンサートでは、



付きのチェロとルリ子・ボーマン師のピアノ伴奏、飯島由利江姉によるいくつかの賛美が演奏された。

第三部のOBIの『今まで』そして『これから』は、堀肇OBI理事の司会で、次の順に勧められた。OCC理事の飯島延浩社長からは、「本田師と羽鳥師の信徒教育ビジョンを増田師が引き継がれ、自分としても事業だけでなく、

キリスト者として宣教に何らかの貢献をしたく、OCC、OBIと関わりを持つようになった。信徒人口1%の壁を破るべく、デイリー・ヤマザキの山崎製パンへの統合で得た知恵を今回のOCC・OBI統合に活用したい」と表明された。藤原副学院長からは、信徒教育への注力を理念とした学院充実の決意が述べられ、今後の①牧師夫人コース、②信徒説教者育成コースの追加構想が発表された。福井教務主任からは、「OCCの当初からのビジョンであった

①信徒教育、②大学生伝道、③福音派諸教会の親密交流に沿って、統合後のOBIは進まねばならない」と告げられた。

第四部は、OCC副理事長の榎原寛師によって立食パーティ形式のなごやかな歓談の弾む懇親の時間がもたれた。

本科2年 永澤良子

9月7日、故増田誉雄師、召天3周年記念、OBI記念・支援コンサートに参加させていただきました。

主の祝福の内に120名を超える方々がお集まりになり、共に礼拝をお献げいたしました。

世良田湧侍学院長のお祈りに始まり、へブル人への手紙11章39、40節から「ヴィジョンが全うされるために」と村上宣道師よりメッセージを取り次いでいただきました。「必ずしも与えられたヴィジョンや夢がその人の生涯の内に実現

するとはかぎらない。故増田先生は OBI と OCC が再統合することを願っておられたがその実現を見ることなく、思い半ばで召された。しかし、神は残された者たちにそれを来春、実現させて下さる。今日は先生を偲ぶだけではなく、神が私たちを通して、さらにもさらったものをご計画し、実現させようとしておられることを自覚し、それぞれが果たすべきものを担う覚悟を神は望んでおられる。今日はその『起点』である。」と結ばれました。

第 2 部の記念コンサートはベアテ・ポーマン師、ルリ子夫人、そして飯島由利江さんによる素晴らしい賛美とチェロの演奏で至福の時、感動いたしました。続く第 3 部では OBI の「今まで」と「これから」というテーマで飯島延浩 OCC 理事、藤原導夫副学院長、福井誠教務により OBI の 22 年の歴史、その成り立ち、独立、そして来春の再統合への経緯と新たな

使命を詳しく教えていただきました。その後には終始和やかな笑顔の恵み溢れる時となりました。私自身は増田先生百天後に入学いたしましたので先生にお目にかかることができずでしたがお話伺い、学院がここに至るまでの先生のご苦労を思い、またどれだけ多くの方々のお祈りとお支えのあったことかと改めて思いを馳せました。

OBI の歴史の今、増田先生のおっしゃっていただいた「感謝、感激、感動」の学院生活、「主に仕え、教会に仕える」の理念のもとに恵まれた学び舎に身を置かせていただくこの恵みを主に感謝し、喜んで学び、春からの新たな OBI に期待し、祈り、少しでもお支えできればとの思いを強くいたしました。

OCC、OBI の新しい歩みに向けての素晴らしいキック・オフ集会でございました。

## ご献金者名

(2013 年 4 月 1 日～8 月 30 日)

いつもお祈りとご献金のご支援をいただき、ありがとうございます。以下の方々よりご支援をいただきました。感謝申し上げます。

- 阿部幸平、有田貞一・美榮子
- 安藤谷子、飯島延浩、飯島多稼夫
- 猪狩友行・多佳子、生田今日子
- 石井由紀、石川弘司、石塚幸子
- 伊藤洋子、稲垣緋紗子、金本悟
- 井ノ口久美子、植木朋子、芳賀功
- 上田留美子、内田光子、加茂康一
- 梅澤近子、奥津晃・榮子、脇坂勇
- 小野沢恵子、尾原光彦、島田裕子
- 鬼京由紀子、北城みどり、林芳
- 北城恪太郎、木下順子、倉内一寿
- 国東恵子、窪井節子、倉澤薫代
- 小林喜久男、小林直子、駒井卓
- 小宮明子、近藤はるみ、斉藤潔
- 斉藤としこ、坂本二郎、佐藤敬
- 島田伸世、庄司満喜子、菅井祐子
- 杉山礼子、須子都、鈴木芳宣
- 世良田湧侍、高崎公子、田中美穂
- 田中恵子、田畑勝敏、戸川偕生
- 永澤良子、中島和子、中島總一郎
- 中城昭治、長橋和彦、中村良子
- 浪井弘子、野口誠、原田仁美
- 日名富子、平田仁美、平松庸一
- 福井ちよ、福井誠、藤村陽子
- 藤原導夫・智子、堀肇、堀口容子
- 増尾善文・邦子、町田恵子
- 松本逸子、真野悦子、三浦喜代子
- 三友庸子、宮内芳枝、宮崎誉
- 村上宣道、山口松子、山田由美子
- 山本しづか、山本潤、吉村瑠美子
- 依田和子、森本馥、米田由起子
- 越独立教会、久遠基督教会
- 市川北バプテスト教会
- 宇都宮聖書バプテスト教会
- 夙川キリスト教会
- 鶴瀬恵みキリスト教会
- 中山キリスト教会
- ホサナキリスト教会
- OBI 後援会、声楽コース一同
- ローマ研修旅行一同
- クリスマスチャンペンクラブ